

## 令和8年度 小・中学校「カリキュラム・マネジメント」実践研修 実施要項

- 1 目的 カリキュラム・マネジメントの意義と必要性、所属校におけるカリキュラム・マネジメントの充実に向けた取組みについて理解を深めるとともに、組織的にカリキュラム・マネジメントを推進する力を高める。
- 2 対象 小学校、中学校、義務教育学校、支援学校小学部、支援学校中学部の教員

募集人数 30名

## 3 日時等

回	日時	主題等	講師等
1	5月28日(木) 14:00~17:00	学校全体で取り組むカリキュラム・マネジメントの基本的な考え方 ーカリキュラム・マネジメントの意義と必要性ー 組織的かつ効果的にカリキュラム・マネジメントを進めるために ー実践事例から学ぶー [講義・演習]	大阪府教育センター 指導主事等
2	12月10日(木) 14:00~17:00	カリキュラム・マネジメント実践の交流 次年度の取組みに向けて [協議・講義・演習]	大阪府教育センター 指導主事等

- 4 会場 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m  
JR阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m  
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

- 5 その他 (1) 受付は30分前から。  
(2) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。  
(3) 大阪府教育センターに、自家用自動車・バイク等の駐車はできません。  
(4) (受講決定後～当日) Plant で、事前連絡や課題等がないか確認すること。

- 6 担当室 小中学校教育推進室

個別募集

## 令和8年度 小・中学校「カリキュラム・マネジメント」実践研修 シラバス

## 1 目的

カリキュラム・マネジメントの意義と必要性、所属校におけるカリキュラム・マネジメントの充実に向けた取組みについて理解を深めるとともに、組織的にカリキュラム・マネジメントを推進する力を高める。

## 2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期							○	○	○						
第3期							○	○	○						
第2期															
第1期															
第0期															

## 3 研修の主題とねらい等

回	主題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	学校全体で取り組むカリキュラム・マネジメントの基本的な考え方 ーカリキュラム・マネジメントの意義と必要性ー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラム・マネジメントの基本的な考え方を理解する。</li> <li>・組織的にカリキュラム・マネジメントを進めていくことの必要性を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義、演習を通して、カリキュラム・マネジメントの意義と必要性について学ぶ。</li> <li>・講義、演習を通して、組織的にカリキュラム・マネジメントを進めることの必要性について学ぶとともに、カリキュラム・マネジメントに全教職員が関わっていくための工夫について考える。</li> </ul>	<b>準備物</b> ※データでも可 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育目標がわかるような資料</li> <li>・学校の教育計画がわかるような資料</li> <li>・学校の各教科及び総合的な学習の時間、特別活動、特別の教科 道徳の年間指導計画がわかるような資料</li> </ul>
	組織的かつ効果的にカリキュラム・マネジメントを進めるために ー実践事例から学ぶー	効果的なカリキュラム・マネジメントの進め方について理解する。	講義、演習を通して、カリキュラム・マネジメント実践のポイントを所属校の取組みに生かす工夫を考える。	

	カリキュラム・マネジメント実践の交流	所属校のカリキュラム・マネジメントの取組みについて評価し、成果と課題を明らかにする。	協議を通して、所属校のカリキュラム・マネジメントの取組みについて「カリキュラム・マネジメント実践のまとめ」に基づいた振り返りを行う。	<b>事前課題</b> 「カリキュラム・マネジメント実践のまとめ」を作成し、持参する。
2	次年度の取組みに向けて	カリキュラム・マネジメントの継続的な取組みについて理解し、所属校における次年度の取組みについて見通しを持つ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義、演習を通して、カリキュラム・マネジメントの取組みを継続的に実践していくことの必要性を学ぶ。</li> <li>・演習を通して、次年度の取組みについて考える。</li> </ul>	